

令和4年度 学校評価アンケート結果についての関係分掌による分析

担当	分野	No.	質問項目	分析等
教務	学習指導	1	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている	<ul style="list-style-type: none"> 生徒全体肯定評価は89.9%と昨年度(86.6%)を上回った。全体の約9割と高い数値を示していることは、教員側が生徒の学習状況を的確に把握し、ICTやアクティブラーニング等を駆使して、その実態に応じた指導を行い、学習効果を得ているからと考える。特に1学年は94.9%と例年にない高い数値を示している。 保護者の評価も昨年度より4.3%向上し、教職員の授業力向上への努力と成果が評価されていると考える。「授業がよく分かる」ことは「総合満足度」の評価にもつながるため、一人ひとりの授業力向上を図るための研修等も教務部で検討していきたい。
生徒	生徒指導	2	挨拶やマナーなどの基本的習慣の確立に関する指導が行われている	生徒と保護者からは高い肯定的評価を得た(生徒87.2%、保護者92.4%)。一方で、教職員の肯定的評価は78%と相対的に低く約20%の教職員が指導が行われていないと捉えている。夏季・冬季に制服外登校を実施したが、「何でもあり」という風潮を生み出さないようにメリハリのある指導を実施していきたい。
進路	進路指導	3	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている	<ul style="list-style-type: none"> 肯定的評価はR2→R3→R4:生徒91%→89%→89%(同様)、保護者87%→82%→89%(上昇)。進路ガイダンス等の各種行事、進路情報の提供に加え担任との面談を始めとする学年の取り組みが良い評価につながっていると思われる。特に3学年の評価が高い(生徒評価Aが52%評価Bが39%)ことが特徴的である。 1, 2学年の4月・8月のスタディーサポート実施とその分析会→キャリアセミナーと進路ガイダンス(10月～12月)→実力診断テスト(1月)という流れは、進路目標の明確化に役立ったと思われる。
保厚	教育相談	4	生徒にとって教員やカウンセラーが必要ときに相談に応じてくれる体制は出来ている	評価A・Bの合計が生徒は84.1%、保護者は81.5%であり、概ね出来ているという評価であった。精神面でのケアが必要な生徒が増加していることから、常に予約で埋まっている状況であるため、今後は、カウンセラーの来校日を増やすなど対策が必要と考えられる。
生徒	部活動	5	学校として部活動は活発に行われている	昨年と変わらず、高い肯定的評価(生徒:96.4%、保護者:92.1%、教職員:95%)を得た。今後も学習とのバランスを図りながら、生徒の健やかな成長における部活動の重要性を認識させながら更なる活性化に努めていきたい。
生徒	生徒会活動	6	学校として生徒会活動は活発に行われている。	肯定的評価の割合をみると、生徒と保護者の数値が増加した。新型コロナウイルス感染症対策が昨年より緩和され生徒会活動への制約が弱まったこと。夏季・冬季の制服外登校について生徒会主導で全校アンケートを実施したことなどが要因と考えられる。
生徒・総務	学校行事	7	自分(お子さん・生徒)にとって有意義な学校行事がある(学校行事)。	生徒・保護者のいずれも昨年より肯定的評価が増加し高い評価を得た。新型コロナウイルス感染拡大により学校行事も制約を受ける中で、様々な工夫を行いながらできる限り従来に近い形での行事の実現に向けて努力した姿勢が評価されたと考えられる。
総務・教務	特色ある学校作り	8	学校として地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	生徒全体評価は、昨年度より約6%減少した。特に2学年の評価が最も低い数値となっている。2, 1学年では、総合的な探究の時間等で、より地域理解を図る授業を展開し、「柴田町の良さ」への気付きと、地域とともにある学校づくりのための施策実施を、各学年と課題共有しながら計画を立てていきたい。
総務	防災	9	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	保護者の評価CDがR3年度34.1%から24.9%となった。今後は、年度初めや避難訓練時等に構内での避難方法や連絡方法を配信したり、安否確認訓練や引渡し訓練の実施等も検討していきたい。

教務	開かれた学校	10	保護者に対して学校HPや各種通信などで、学校の情報は適切に伝えられている	保護者の肯定評価は昨年度より約5%向上し、8割を超えた。また、生徒による評価も、87.2%と高い数値を示している。柴高通信の発行とともに、学校HP更新頻度も高まってきていることが要因と考える。教職員の肯定的評価は減少していることから、生徒・保護者との捉え方の齟齬がある。「HPを見れば学校の実力が分かる」とも言われる昨今、レイアウト変更等も含めて具体的に検討していきたい。
事務	施設設備	11	学校の施設・設備は整備されている	・昨年度に引き続き、生徒・保護者からの回答は、78%以上がAまたはBと評価された一方で、教職員からの評価は低く、不満が多くなっている。校舎・体育館は築35年を経過し、施設設備の老朽化が見られるが、安全面を最優先に考慮し、維持管理及び整備に努めるとともに、不備・不便な部分は、順次改善を図りたい。 ・教室の暖房について、冬休みに教室の室温調査を行い、扉を閉め切った状態では適度な温度を保っており暖房性能は問題ないことを確認した。コロナ対応による窓等開放状態では効率が落ちるため、補助暖房を入れるかどうかについては、保健厚生部や学校全体での協議が必要と考える。また、必要な予算を生み出すためには、各科・各部へ配当している予算を吸い上げることが必要となる。(→実際には補助暖房で対応)
生徒	いじめ対策	12	【生徒】学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる 【保護者】学校としていじめの問題に対する取り組み方針が保護者と共有されている	例年低かった保護者の肯定的評価が増加した(66.6%→73.3%)。学校生活アンケートについてClassiや生徒指導部だよりで発信してきたことが要因と考えられる。一方で、生徒の肯定的評価は昨年の84.3%から78.8%に低下した。アンケートでの把握だけでなく、日常からの生徒観察に努めていきたい。
生徒	総合満足度	13	学校生活は充実している	生徒・保護者のいずれも昨年度より高い肯定的評価となった(生徒87.7%、保護者91.2%)。ただし、生徒の詳細をみると現2、3年生のいずれも1、2年次の時よりも肯定的評価が微減している。満足度の低い生徒の要因を把握するために面談等を実施して個々の生徒理解に努めたい。
保厚	保健厚生環境	14	【生徒のみ】日常の清掃活動をはじめとして環境の整備は適切に行われている	評価A・Bの合計が81.6%であり、概ね評価は良好であるが、まだまだ環境の整備が必要な部分が多い。今後も、日常の清掃活動を効率的かつ効果的に実施してさらなる環境整備に努めたい。
保厚		15	健康診断や保健講話・保健だよりにより生徒の健康管理は適切に行われている	評価A・Bの合計が、生徒は93.3%、保護者が95.7%、教職員が97.0%であり、生徒・保護者・教職員から高い評価を得ている。生徒の健康管理は重要な事項であるため、今後もしっかりと行うとともに、必要なことを情報発信できるように努めていきたい。
総務	総務	14	(保護者のみ)PTA会員相互の連携が図られており各種行事・研修がスムーズに運営されている	今年度もコロナの影響で、さまざまな行事が中止または規模縮小という状態でPTA会員が顔を合わせるという機会が少なかった。来年度は新しい形での行事にも力を入れ、多くのPTA会員が顔を合わせる機会を作りたい。
教務	教務図書	16	学習、読書及び情報収集の場として図書室は適切に運営されている	生徒肯定評価は、学年が上がるごとに低下している。全体で昨年度より6.6%低下しているが、88.8%という数値は決して低くはない。担当者と協議し、新書の配架や、学習環境整備をより一層進めていきたい。

進路	進路指導	17	模試や課外講習などで進路達成に向けた実力養成は適切に行なわれている。	模試の受験数や課外講習の受講人数が極端に低いのが現状であり、この設問については肯定的評価の割合は高くないと思われたが、生徒88%(R3:93%)保護者83%(R3:77%)と比較的高い満足度となった。各種就職指導(公務員講習含む)、面接指導、入試対策の個別指導や自主学習サポートなどに加えて、設問3の分析でも記述した各種ガイダンスやスタディーサポート等の実施とその分析等が功を奏していると考えられる。
教務	教務図書	18	芸術鑑賞会など情操を養うための行事が適切に行われている	生徒・保護者・教職員ともに肯定評価が9割を超え、高い評価を得ている。新型コロナウイルス感染防止のため、内容や入館人数が制限されるなか、高い満足度が得られていることは、良い傾向であると考えられる。感染症流行が治まれば、また新たな演目内容を検討でき、より良い情操教育の推進ができるようになる。
教務	教育課程	19	学校としてスクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている	今年度より新設された項目である。全体的に肯定的評価がほとんどで、特に教職員は90%と最も高かった。生徒・保護者にスクールポリシーをより広く深く浸透させ、目的や目標、目指す学校像に基づいた教育活動が展開できるよう、カリキュラムマネジメントを構築していきたい。